

都市再生整備計画 事後評価シート
羽川地区

平成23年3月

栃木県小山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	小山市	地区名	羽川地区			面積	159.9 ha
交付期間	平成18年度～22年度	事後評価実施予定時期	平成22年度	交付対象事業費	1,000.6 百万円	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		道路(市道1297号線改良整備事業、市道1536号線整備事業)、公園(下田公園整備事業)、地域生活基盤施設((仮称)羽川広場整備事業、公共施設案内板設置事業)、高質空間形成施設(緑道整備事業)						
	提案事業		地域創造支援事業(水路整備事業)、事業活用調査(羽川地区まちづくり推進事業調査)、まちづくり活動推進事業(羽川地区まちづくり推進委員会活動事業)						
			事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業		基幹事業 なし		—		—		
	提案事業		—		—		—		
新たに追加した事業		基幹事業 高質空間形成施設(南緑道整備事業)		地元で策定したまちづくり構想に基づき、地区内道路回遊性向上のため事業を追加する。		影響なし			
提案事業		地域創造支援事業(下田水路整備事業、羽川水路第一分水整備事業、水路改修事業、下田用水整備事業)		災害等に強い、安全な生活環境が形成されることから、平成21年に計画変更して追加		緊急時・災害時に強い安全な生活環境の形成目標に向け、プラスの影響があるが、目標も指標も据え置く			
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響					
変更		平成	年度～	年度					

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	H17	目標年度	H22	モニタリング	評価値				
指標1	公園利用者数	人/月	0	H17	810	H22	—	907	○	あり なし	身近に自然と触れあう場として、都市計画公園の整備を実現することができ、良好な住環境の形成及び地域コミュニティの充実が図られた。	平成23年9月
指標2	緑道の通行者数	人/月	0	H17	1,200	H22	—	2,490	○	あり なし	緑道の整備により安全な歩行空間を確保することができ、回遊性の向上、散策等ができる環境形成が図られた。	—
指標3	市道の狭隘道路に接した住宅の割合	%	10.9	H17	7	H22	7.2	5.9	○	あり なし	市道の拡幅改良整備により、安全な生活環境の形成が図られ、4m未満の道路に接する住宅の割合が減少した。	平成23年4月

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	H21	目標年度	H22	モニタリング	評価値				
その他の数値指標1	通学路や歩行者空間の満足度	%	8.9	H21	/	/	—	16.7	/	/	狭隘道路の拡幅改良整備や緑道整備により、地域全体の回遊性の向上や安全な生活環境の形成が図られた。	平成23年9月
その他の数値指標2	地区住民の交流の場に関する満足度	%	15.7	H21	/	/	—	27.0	/	/	公園や広場、緑道の整備により、地区住民の交流の場の創出及び地域コミュニティの充実が図られた。	—

4)定性的な効果発現状況

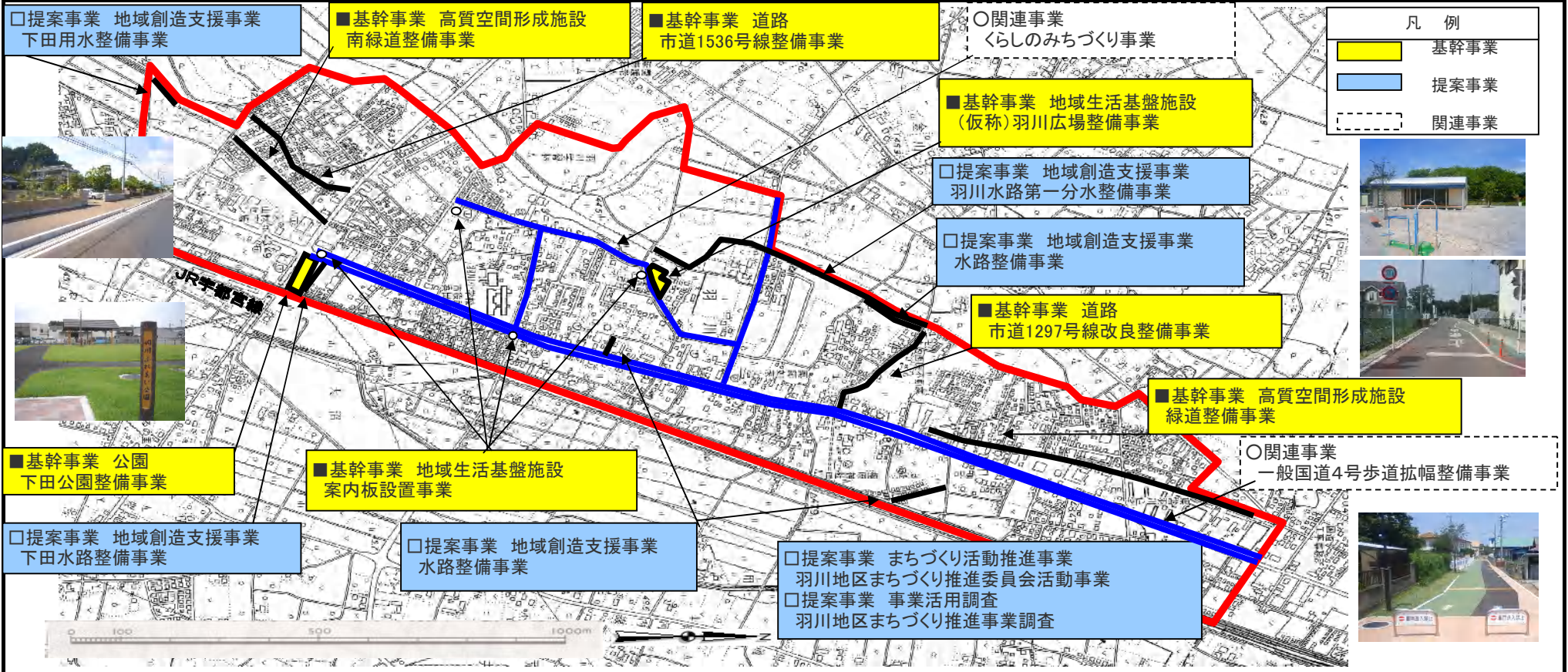
- ・市道における歩行空間の確保(歩車共存の整備)により、歩行者(通学路)の安全性が向上している。
- ・国道4号歩道拡幅事業と併せ、地区計画制度の適用(かき又はさくの構造の制限等)により、落ち着いた沿道景観を形成しており、地区の街並みづくりを促進している。
- ・公園及び緑道の整備により、住民主体の清掃・維持管理活動が行われており、地区内のまちづくり活動がさらに活性化している。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	アンケート調査によるモニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	満足度調査による事業効果の把握方法に一定の成果が得られたことから、今後の他事業等での活用を図る。
	住民参加プロセス	羽川地区まちづくり推進事業調査 住民ワークショップ	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	「羽川地区まちづくり構想」の実現に向けて、市民との協働によるまちづくりを推進する。住民主体の清掃・維持管理活動に対する必要な支援を行う。
	持続的なまちづくり体制の構築	羽川地区まちづくり推進委員会活動事業	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	羽川地区まちづくり推進委員会との意見交換及び調整を継続的に実施していく。

様式2-2 地区の概要

羽川地区(栃木県小山市)都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値			
・旧日光街道や既設水路敷き等を利用し散策路整備・緑道整備等を行うことにより、地域全体の回遊性の向上、また、散策等できる環境形成を図る。 ・地域住民が利用する公園をワークショップによる整備を行うことにより、市街地の良好で魅力的な住環境の形成及び地域コミュニティの充実を図る。 ・地域内にある狭隘道路の拡幅改良整備を行う事により、緊急時・災害時等に強い、安全な生活環境の形成を図る。	公園利用者数 単位:人/月	0	H17	810	H22	907	H22
	緑道の通行者数 単位:人/月	0	H17	1,200	H22	2,490	H22
	市道の狭隘道路に接した住宅の割合 単位:%	10.9	H17	7.0	H22	5.9	H22



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・市道の拡幅改良整備事業により、歩行空間を確保し、道路の歩車共存による歩行者の安全性と回遊性の向上を実現した。 ・住民ワークショップ等により、下田公園及び羽川広場の設計に意見を反映し、地域住民の交流の場、身近な自然と触れあう場が形成された。 ・平成19年度に「羽川地区まちづくり構想」が策定された。平成17年度に「羽川中央地区」、平成20年度に「羽川南地区」、平成22年度に「羽川北地区」及び「羽川下地区」における地区計画の都市計画決定を行い、地区の景観形成・街並みづくりが進展している。 ・地区内には、他にも未整備の狭隘道路があることから改良整備が必要である。 ・地区内の歩行空間や地域全体の回遊性が不足していることから、道路改良整備や緑道整備等による、歩行者空間の確保とネットワーク形成が必要である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・市道の改良整備等など、良好で魅力的な住環境の形成と、道路など安全な生活環境の形成に向けて、羽川地区まちづくり推進委員会と協力・連携しながら、地区住民や関係権利者等との協議・交渉、まちづくりに関する地域住民への情報提供や周知の徹底など地元合意形成を図る。 ・緑道の整備や市道の改良整備等による歩行者空間の確保を進め、地域全体の回遊性の向上、散策等ができる環境形成を図る。 ・住民主体の維持管理活動を推進するため、必要な支援を行う。 ・地区計画制度に基づき、地区に相応しい景観整備や街並みづくりを誘導。促進する。